

第2次市民協働推進計画(案)パブリックコメント意見募集結果

1 意見募集の概要

- (1) 意見募集期間 平成29年12月20日(水)～平成30年1月18日(木)
- (2) 周知の方法 広報あんじょう(12月15日号)及び市公式ウェブサイト、市役所デジタルサイネージ、市民交流センターフェイスブック
市民交流センター館内掲示
- (3) 閲覧場所 市民協働課、市民交流センター、各地区公民館、アンフォーレ(図書情報館)、社会福祉会館、総合福祉センター
各地区福祉センター
※市公式ウェブサイトにも掲載
- (4) 意見を提出できる人 ①市内に在住・在勤・通学している ②市内に事業所などを有する ③市内で活動している
①～③いずれかに該当する人
- (5) 意見提出方法 住所・氏名とご意見を記入し、持参か郵送、ファクス、電子メールで市民協働課まで提出

2 意見募集の結果概要

- (1) 意見提出人数 2名
- (2) 意見総数 14件
- (3) 提出方法 電子メール14件 持参0件 郵送0件
- (4) 結果の公表 広報あんじょう(3月15日号)、市公式ウェブサイト、市民協働課、市民交流センター、アンフォーレ(図書情報館)、
各地区公民館、社会福祉会館、総合福祉センター、各地区福祉センター

【意見区分】

- A: ご意見を受けて加筆・修正したもの (6件)
- B: ご意見の考え方が現行案に含まれていたもの (0件)
- C: 現行案とおりにしたもの (5件)
- D: 案に関連する質問など (3件)

3 提出された意見及び市の考え方について

番号	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見区分
1	5ページ 市民の目から見た市民協働のまちづくりの現状と課題の①	全体的に悲観的な印象を受ける。条例があるからやるのではなく、その活動に価値を感じて行動を起こすはずだから、条例については、最後でいいのではないか。	①の分析では、ボランティアや市民活動に関わった経験のある方のほうが、そうでない方より条例の認知度が高く、市民活動に参加することで、市民協働に関する	ご意見をふまえ、①の表現を「市民協働に関する知識や理解を深めるためには、引き続き市民活動への参加の機会を提供し続けることが必要」に修正します。	A

番号	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見区分
			<p>知識や理解を深めていたと考えられます。</p> <p>したがって、市民協働に関する知識や理解を深めていただくためには、言葉の啓発だけではなく、市民活動に参加していただくことが重要だということをお伝えすべきと考え、最初に記載しています。</p> <p>順番は変更しませんが、市の考えをわかりやすくするため、①の表現を修正します。</p>		
2	<p>5 ページ</p> <p>市民の目から見た市民協働のまちづくりの現状と課題の②</p>	<p>参加需要者が 4 割もいるのは喜ばしいことで、行動を起こしてくれるように、うまく盛り上げることが必要である。</p> <p>顕在化という改善しなければならぬ切実な点のように思えるが、もっとも問題なのは、「参加したことはなく、今後も関わるつもりはない。」という人が 6 割もいることだ。</p> <p>「機会提供のしかたを工夫する必要あり」としたらどうか。</p>	<p>「参加したことはなく、今後も関わるつもりはない」という無関心層への働きかけも重要ではありますが、まずは潜在的に市民活動やボランティア活動に関わってみたいという希望がある方を、新たな市民活動の担い手として誘い込む（顕在化させる）ことが優先と考えています。</p>	<p>左記の考えに基づき、計画案についてはそのままとします。</p>	C

番号	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見区分
3	6 ページ (図 2-1-1, 2-1-2)	2つの図を縦に並べた方が大きく表示できるのではないのでしょうか。		ご提案のとおり、当該ページの図の並べ方を変更します。	A
4	11～13 ページ 町内会加入率に関するグラフ	町内会加入率が低いことを問題にしているが、安城市の場合、転入転出が多いと聞いている。短期間で住む土地が変わることがわかっている場合、地域のために何かしようという気持ちはあまりわからないのではないかと。 転入転出の割合が同程度の別の市町村(複数)との比較データがあるとよりわかりやすいのでは。	今回のアンケート調査では、町内会に未加入の理由も聞いていますが、その理由は、「加入する意義を感じられない」など、短期間での転入出以外の理由が約8割を占めています。したがって他市の転入出状況に関係なく、町内会活動の必要性等を理解いただき、町内会加入率を向上させることが継続的な課題と考えるため、他市との比較は行いません。	左記の考えに基づき、計画案はそのままとします。	C
5	22 ページ ④タイトル中 3行目	『講座』等のより一層』が読みづらく感じるため、『講座』などのより一層』にしてはどうでしょうか。		ご提案のとおり、当該箇所を修正します。	A
6	22 ページ ⑤市民交流センターの機能の充実と利用促進が課題 1行目	「その一方」という記述について、具体的に何を指すのかが、分かりづらいと思いますので、「人材育成の実施に対する支援要望がある一方」にしてはどうでしょうか。	「その一方」の「その」が指しているのは、『「市民活動団体同士を結びつけ協働を作り出すことのできる人材を養成する講座」が強く求められています』です。 しかし、「その一方」という言葉	「その一方」は削除します。	A

番号	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見区分
			が無くても、文章の意味が分かることから、削除します。		
7	23 ページ ⑥市民活動団体と地域団体など多様な協働関係が生まれるような支援が課題 5行目	「マッチングする人材の確保」について、市民活動団体の視点からですので、「市民活動団体からマッチングする人の育成」としてはどうでしょうか。	マッチングは、主に市民活動を支援する拠点施設のスタッフが、業務として行うものと考えますが、業務にあたり、既にマッチングを行うのに十分な能力を持つ市民活動団体の方との連携・協力や、人材の継続的な育成も重要だと考えます。 双方の考えをふまえ、ご指摘の部分については、「マッチングができる人材の育成・確保」と修正します。	ご意見をふまえ、表現を修正します。	A
8	32～33 ページ 推進事業(1-1-1, 1-1-3, 1-2-1)	「イベント等を利用したPR」「ボランティア体験プログラム」「入門講座」とあるが、これらは、アンフォーレを優先的に利用して実施すべきと考える。アンフォーレは、特に用事がなくてもふらっと訪れる人がいるが、社会福祉会館や市民交流センターは、目的があって行くところである。 担当課の枠を越えての取り組	講座開催などのPRについては、多くの市民に周知する必要がある、アンフォーレに限らず、幅広く啓発を行うべきと考えますので、費用対効果等を考えながら検討してまいります。 各講座の開催場所については、成果等を総合的に検討した上で、適切な場所で開催するべきですが、ご指摘いただいた講座につ		D

番号	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見区分
		みが市民活動への参加者を増やすきっかけになると思う。	いては、事前申込制であり当日訪れた方がその場で参加するのは難しいと考えます。	/	
9	34 ページ 推進事業 (1-4-1)	P 1 0⑤「施策展開における市民協働の機会拡大が課題」の中で「安城市と市民が協働して行うべきとの回答が得られています。」とあるにもかかわらず、市職員の参加率向上の具体的指標がない。P 3 2に市民の割合の目標値を出しているのだから、市職員の目標値を載せるべきではないか。	市民協働推進条例の定義では、市職員も市民であり、すでにP 3 2で市職員も含めた市民全体の目標値を掲載していることから、市職員だけの目標値を設定し、掲載することはしません。	左記の考えに基づき、計画案はそのままとします。	C
10	35 ページ (1) 市民活動の拠点施設と支援機能の充実 1 行目	「市民活動の拠点となっている市民活動センター、地区公民館、地区福祉センター等」とありますが、後述 (2-1-3) で拠点施設を市民活動センター、生涯学習ボランティアセンター、社会福祉協議会ボランティアセンターとしていますので後述に合わせてはどうでしょうか。	ご指摘の部分については、拠点施設という言葉で、異なる施設を指していましたので、活動の場を表す「団体の活動拠点施設」と市民活動センターなど団体の活動を支援する「市民活動の支援拠点施設」に整理をしたうえで、文章を修正し、わかりやすいものとなりました。 それに関連して推進事業 (2-1-3) の事業名も修正を行いました。	ご提案をふまえ、文章及び関連する推進事業名を変更しました。	A

番号	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見区分
11	35 ページ 推進事業(2-1-3)	<p>アンフォーレについては、せっかくあれだけの施設を作ったのだから、情報共有だけでなく、市民団体のPRの場としてもっと有効に使うべきである。</p> <p>具体的には、エントランスに予約がなく、空いている日があるが、このような場合、各団体の活動紹介パネルを展示できるとよい。その展示もあらかじめ決めたおりの順番にアンフォーレ課で展示してもらえるとよい。(パネルの市民団体は、展示・撤収作業を行わない。)</p> <p>市民活動交流会は、今年で2回目であるが、3回目以降になると少々マンネリ化(同じ人しか集まらない)する可能性がある。しかし、アンフォーレでも展示してもらえる可能性があれば、展示パネル作りもより工夫を凝らしたり、積極的に参加する団体が増えると予測する。</p>	市の方針といたしまして、市民団体自身のPRについては団体の自主的な活動によるものとしております。	/	D
12	36 ページ	(2-2-1)円卓会議の開催と、(2-	(2-2-1)については、それぞれの	左記の考えに基づき、計画案はそ	C

番号	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見区分
	推進事業(2-2-1, 2-2-2)	<p>2-2) 団体同士がつながる交流会の開催の目的を入れ替えてはどうでしょうか。</p> <p>交流会において話し合いたい主体を見つけ、その後の活動として円卓会議でテーブルを同じくし、そこで新たな協働を生み出すという流れです。</p>	<p>団体が、日ごろの活動を通じて感じる地域の課題について話し合い、その中で自分たちが協働して解決できそうな活動を検討していくことが主な目的です。一方(2-2-2)については、市内にある他団体とその活動内容について知ることが主な目的です。</p> <p>それぞれの目的を入れ替えることはしません。</p>	のままとします。	
13	36 ページ 推進事業(2-1-5)	<p>「図書情報館の運営を行います。」だけでは、8年も前に策定した新図書館基本計画P42にある今まで通りのこと続けるだけで、「協働を進めるための第2次プラン」としては、魅力に欠ける。</p> <p>「課題解決支援機能」だけでなく、市内の市民団体が実施するイベント時期に合わせて、その市民団体が参考にしている図書と団体の紹介を実施するなどしてはどうでしょうか？アンフォーレ課と市民協働課、関係する市民団</p>	市民活動や地域活動などに関する資料については、現在でも3階に常設しておりますが、今後はアンフォーレ内で開催される市民団体のイベントや講座に合わせて、図書資料の出張展示や貸出等を検討してまいります。	/	D

番号	計画案の該当箇所	ご意見の概要	市の考え方	計画への反映	意見区分
		<p>体の協働でPRができると思います。</p>			
14	40 ページ 推進事業(4-1-1)について	<p>「フェイスブックなどのソーシャルメディア」とあるが、フェイスブックを利用する若者は減少しているという情報があるので、インスタグラムやツイッターなど、複数のSNSを利用して発信することを明記すべきではないか。</p> <p>特に、市民活動情報サイトのイベント情報や活動報告はできるだけ拡散したいが、更新してもあまり見てもらえない。市民活動情報サイトを更新したら、交流センターのフェイスブックや市のフェイスブック、新たに始めるツイッターにリンクするような形をとってもらえるとありがたい。</p> <p>(現状、拡散しないので、市民活動情報サイトの利用は、低迷している。)</p>	<p>文中の「フェイスブックなどのソーシャルメディア」が指すのは、市民交流センターが管理するフェイスブックページのことであり、現時点では、今後インスタグラムやツイッターを活用するかどうかは未定のため、明記することはしません。</p> <p>しかし、市民活動に関する情報を積極的に発信することは、重要だと考えていますので、インスタグラムやツイッターに限らず、そのメリットやデメリットなどをふまえた上で、活用を検討してまいります。</p> <p>市民活動情報サイトの件については、ご提案の内容も含めて、情報サイトの利用が活性化するように検討してまいります。</p>	左記の考えに基づき、計画案はそのままとします。	C